

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第3区分  
【発行日】平成18年11月16日(2006.11.16)

【公開番号】特開2005-113083(P2005-113083A)  
【公開日】平成17年4月28日(2005.4.28)  
【年通号数】公開・登録公報2005-017  
【出願番号】特願2003-352215(P2003-352215)  
【国際特許分類】

**C 0 8 G 65/48 (2006.01)**

C 0 8 L 101/16 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 65/48

C 0 8 L 101/16

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月29日(2006.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

この発明は、リグニンの -O-4 ポリエーテルの製法及び高分子量のリグニンの -O-4 ポリエーテルに関する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の方法により得られたポリマーは、リグニンの主要な結合様式である -O-4 構造を持つ規則性ポリマーであり、高分子量のものは新規なポリマーである。

このポリマーは、木材やパルプ廃液から得られるリグニンが利用される分野において広く応用できると考えられる。例えば、樹脂、接着剤、炭素繊維などのほか生分解性プラスチックなどの分野で用いることができる。

リグニンの利用開発としては合成ポリマーとのブレンドポリマーに関するものがさかんにおこなわれており、本発明のポリマーも同じように使うことができる。また、様々な官能基を導入することにより、天然のリグニンにはない生体適合性などの新しい機能を付与できると期待される。